

		⑧ 聞いた数を答えよう	
		聞いた内容を少しの間記憶しておく力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
5	教材・教具	13) ・教師の動作や合図などを手がかりとして活用し、分かりやすく伝える 14) ・説明の際には、具体物や写真、図などの手がかりを使い、分かりやすく説明する 15) ・ICT機器を使って、視覚情報を加えながら話をする	13) ・実際の物やカード、映像などを活用する 14) ・聞く意欲を高めるために、録音した声や音を活用する
6	板書の工夫 ノート指導	16) ・色チョークや囲み、下線などで大切な部分を目立たせ、分かりやすくする ・授業の流れが分かりやすい板書をする ・同じ教科ではある程度パターン化した板書にする ・囲みや下線は意味ごとに同じ色で強調する 17) ・板書や指示を出しながらノートをとらせない ・書く時間を十分に確保をする 18) ・発音の似ている言葉など聞き誤りやすい言葉は板書して確認する	
7	プリントの工夫		
8	学習環境	19) ・教室内に余計な音刺激がないように配慮する ・静かにする合図を決める ・いすの脚にゴムなどの消音できる物を利用する ・掲示物を一時的に隠すためのカーテンなどを利用する 20) ・教師が声かけしやすい座席にする 21) ・話が聞きやすくなるようにグループを編成する ・話が聞き取れない児童生徒には近くの児童生徒が教えるような支持的関係をつくる	19) ・聞くことが苦手な児童生徒に、何がうるさいか、何の音が気になるかなどを確認する 20) ・聞くことが苦手な児童生徒の座席を配慮する